三菱地所レジデンス

2018 年 11 月 28 日

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社

オーストラリア・シドニーにおいて、住宅事業「Mastery」に参画

～メルボルンに続く住宅開発事業が販売開始～

三菱地所レジデンス株式会社は、オーストラリア・シドニーにて、現地の不動産会社である Crown Group Holdings（クラウン社）が開発を進める、総戸数 374 戸のマンション開発事業「Mastery（マステリー）」へ参画することが決定しました。

オーストラリア最大都市であるシドニーの居住人口は約 480 万人で、現在も毎年約 10 万人のペースで人口が増えており住宅ニーズが高まっています。本計画地はシドニーのビジネス中心区域から南へ約 4km、シドニー国際空港から北東約 5km に位置し、近年住宅開発が進む利便性の高いエリアです。

【本物件の特徴】

・シドニーのビジネス中心区域へ 4km 圏内
　地下鉄駅、バス停、商業施設、大型公園がすべて徒歩圏に揃う利便性が高い立地
・全 5 棟構成、住宅 374 戸と商業の複合開発。屋上プール、ジム、コミュニティルームも設置
・デザイン設計に、隈研吾氏、髙田浩一氏を起用し、日本食レストラン等を誘致する等、
　日本をコンセプトにした商品企画

今般参画する「Mastery」は、2018 年 11 月 17 日に販売を開始しており、2019 年の着工、2021 年の全棟竣工を目指します。

クラウン社・Iwan Sunito（イワン　スニート）CEO は、本物件について「急速に成長しているシドニーの不動産マーケットに大きなインパクトを与えることになると確信している」と述べ、三菱地所レジデンス専務執行役員・四塚雄太郎は「日本のお客様にも魅力的な案件であり、日本での販売においても協力できるよう尽力する予定である」と述べています。

▲外観完成予想 CG（C 棟）

オーストラリアの住宅開発事業は、メルボルンでの「Melbourne Quarter East Tower」に続く参画です。今後も世界各国で培ってきた不動産開発ノウハウ・商品企画力を活かし、積極的に海外での不動産事業を推進していきます。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三菱地所株式会社　広報部 TEL：03-3287-5200

■「Mastery」物件概要

所在地	Australia Sydney Waterloo 48O'Dea Ave
建物規模	5 棟構成／A 棟 5 階建、B 棟 6 階建、C 棟 20 階建、D 棟 7 階建、E 棟 8 階建
用途	住宅（分譲マンション）、商業
総戸数	住宅 374 戸（A 棟 39 戸、B 棟 54 戸、C 棟 144 戸、D 棟 42 戸、E 棟 95 戸）
総事業費	約 3.85 億豪ドル
間取り	1Bedroom～3Bedroom
専有面積	約 40 ㎡～約 128 ㎡
敷地面積	約 16,941 ㎡（約 5,124 坪）
延床面積	約 33,860 ㎡（約 10,242 坪）
設計	Silvester Fuller：A 棟、Koichi Takada Architects：B 棟・D 棟・E 棟
	Kengo Kuma and Associates：C 棟
施工	Crown Group Construction 社
販売開始	2018 年 11 月 17日
着工	2019 年 1Q：A・B・D・E 棟
	2019 年 3Q：C 棟
竣工	2020 年：A・B・D・E 棟
	2021 年：C 棟

▲外観完成予想 CG（A 棟）

▲外観完成予想 CG（B 棟）

▲外観完成予想 CG（D 棟）

▲外観完成予想 CG（E 棟）

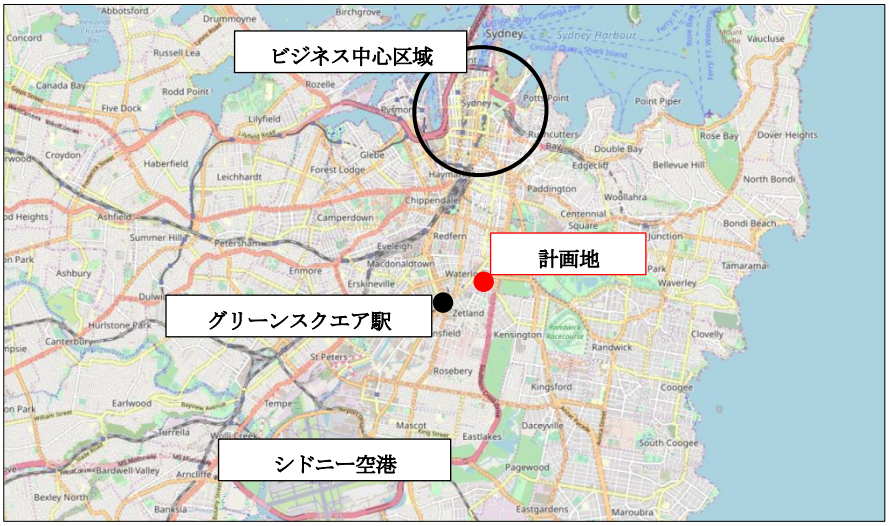
▲専有部完成予想 CG

▲専有部完成予想 CG

▲共用部完成予想 CG

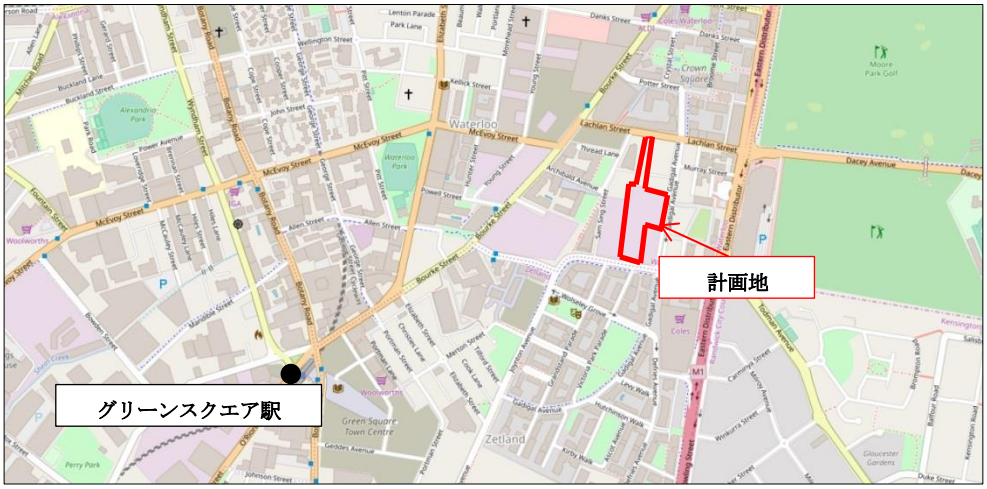
▲敷地配置図

【中域地図】



© OpenStreetMap contributors

【狭域地図】



© OpenStreetMap contributors

■事業者コメント

Crown Group Holdings　Crown Group Chairman and Group CEO　Iwan Sunito（イワン スニート）

・三菱地所グループという、国際的に事業展開し、また信頼できる大企業との共同事業が実現できたことを大変光栄に思う

・この共同事業を通して、本物件の価値を高める為のアイデアやノウハウ等は勿論、様々なことを三菱地所グループから学ばせて頂きたいと考えている

・我々の共同事業は、急速に成長しているシドニーの不動産マーケットに大きなインパクトを与えることになると確信している

三菱地所レジデンス株式会社　専務取締役員　四塚 雄太郎（よつづか ゆうたろう）

・クラウン社は、商品企画及びデザインにこだわったモノづくりを徹底しており、現地でのブランド力が高いデベロッパーである。また、同社は将来に対する明確なビジョン・戦略を持っており、当社としても参考になる点や見習うべき点が多いと感じている

・今後、当社は本物件の推進に積極的に関わっていく考えであるが、特に本物件は日本のお客様にも魅力的な物件であり、日本での販売においても協力できるよう尽力する予定である

・同社とは、継続して共同事業を行って長期的なパートナーシップを構築し、両社の長所を高めあえる関係性を築いていきたい

（参考）

＜Crown Group Holdings（クラウン社）概要＞

本社所在地： オーストラリア・シドニー

設　　立： 1996 年

事 業 内 容： 不動産開発事業、建設業、投資マネジメント事業等

主な開発物件は、「Infinity（マンション）」「Arc（サービスアパートメント）」

代　表　者: Iwan Sunito 氏（創業者、CEO Development）Paul Sathio 氏（創業者、CEO Construction）